

2023 年 9 月 1 日以降に川崎医科大学高齢者医療センターへ初めて入院し、2026 年 3 月 31 日までに退院した 65 歳以上の方及びご家族の方へ

「低カリウム血症は身体機能と精神状態の低下を介して高齢患者の転倒リスクを高める
-亜急性期・回復期の高齢入院患者を対象とした単施設後ろ向き観察研究-」へのご協力のお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学 認知症学 講師 秋山 真樹

1. 研究の概要

血清カリウムの値が低くなると、筋肉に力が入らなくなって転倒しやすくなることが知られています。しかし、リハビリテーションなどで体を動かす機会が増える高齢の患者さんにおいて、実際にカリウムの値がどのくらい転倒に影響しているかは、まだ十分にわかっていません。

そこで本研究では、亜急性期・回復期病床に入院中の高齢患者さんを対象に、「血清カリウムの値が他の血液検査結果と独立して転倒の危険因子になっているか」、そして「カリウムの低下が身体機能や精神状態に及ぼす影響を通じて転倒につながっているのか」を明らかにすることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023 年 9 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に、当院の亜急性期・回復期病床に初めて入院し、その後退院された 65 歳以上の患者さん

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院を初回退院された方の診療情報（電子カルテ等）を匿名化し関連するデータの分析を行います。

4) 使用する情報の種類

入院中の診療記録から、以下の情報を集めて分析します。

- 基本情報：年齢、性別、持病（既往歴）、身体障害の有無
- お薬の情報：服用しているお薬（利尿薬や転倒リスクのある薬など）
- 血液検査データ：入院後 7 日以内に行われた初回検査の数値（カリウム、ナトリウム、コレステロール、腎機能、炎症反応など）

- 身体・精神機能の評価：入院後 14 日以内に行われた評価（握力、足の筋肉量・筋力、バランスや歩行のテスト、体組成、認知機能・気分・活力などの評価）
- 転倒・転落の有無：入院中の発生状況（報告データ）

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学高齢者医療センター医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

・研究資料の開示について

個人情報の保護や研究の特許・独自性を損なわない範囲であれば、研究計画書などの資料を閲覧・入手していただけます。ご希望の際はお申し出ください。

・個人情報の取り扱い・ご家族への説明

個人情報の開示はご本人のご希望がある場合にのみ行います。また、ご同意をいただければご家族（配偶者、保護者、ご兄弟など）や代理人の方を交えてご説明することも可能です。ご不明な点がございましたら、いつでも担当者までお気軽にお尋ねください。

・発表時のプライバシー保護（匿名化）

使用するデータからは、お名前や ID などの個人を特定できる情報をすべて取り除きます(匿名化)。研究結果が学会や論文等で公表される場合でも、患者さんの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2027 年 12 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学高齢者医療センター 高齢者総合診療科

氏名：秋山 真樹

電話：086-225-2112 内線 48049（平日：8 時 30 分～17 時）

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。